

元気なときこそ がん検診



「健康に自信があるから、
がん検診は自分に必要ない」
そうっていませんか？

しかし、がんは日本人の男性の3人に2人が、女性でも2人に1人がかかるといわれています。まずは、「がん」がどのようなものか学んでみましょう。

☎保健福祉センター☎ (22) 2400

●がんの発生メカニズム

がんは、細胞の遺伝子にキズがつき、無限に増え続けるようになった細胞です。健康な体でも毎日発生しますが、免疫が退治しています。

しかし、まれに免疫をすり抜けて増えるものがあり、これが「がん」になります。

がんは1cm程になると、検査で発見できます。早期がんは2cm以下のがんを指しますが、**1cm から2cm になるまで、わずか2年弱しかかかりません。**そのため、**定期的な検診が重要**です。

がんは、生活習慣の改善や早期発見によって、ある程度対処できますが、日本ではいまだに死亡率1位の病気です。

●市内のがんの状況

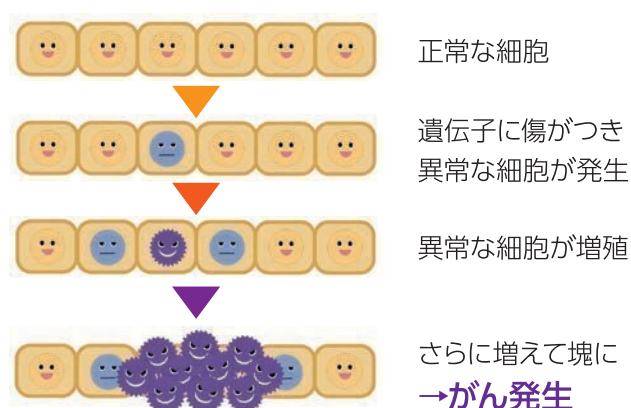
▶死亡率が高く、検診受診率は低い

土別では、がんによる死亡者数が多く、中でも「肺がん」の死亡者数がもっとも多いです。

人口に対する各種原因の死亡率（SMR：右図）でみると、肺がんによる死亡が全国平均より高い結果が出ています。

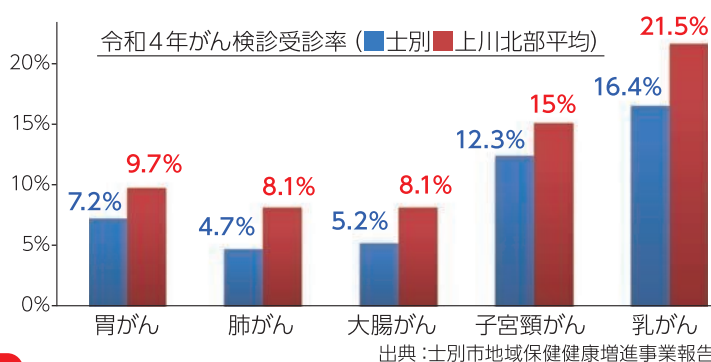
がん検診の受診率をみると、上川北部のなかで土別は低めになっています（右グラフ）。

特に、死亡率の高い肺がんの受診率はもっとも低く4.7%、次いで大腸がんが5.2%となっています。



順位	死因	死亡者数	標準化死亡率（SMR）		
			土別	道	国
1位	肺炎	215人	84.2	97.9	100.0
2位	肺がん	202人	121.0	121.5	
3位	脳血管疾患	178人	67.7	94.0	
4位	胃がん	106人	105.9	98.7	
5位	大腸がん	95人	84.4	110.2	
6位	膀胱がん	80人	104.1	123.1	

出典：（公財）北海道健康づくり財団統計データH25～R4



がんは早期発見で9割が治る

早期がんは、9割以上が完治します。

しかし、ほとんどの早期がんは痛みなどの自覚症状がないため、気づきにくい特徴があります。

体調が良くても、がんが潜んでいることがありますので、定期的に検診を受けましょう。

がん検診の詳細は、市HPなどをご確認ください。また、本紙13ページには下半期のけんしん日程を掲載しています。

地区担当保健師が
相談にお応えします

保健福祉センターへ、
気軽にご相談ください。



▲けんしんガイド